



学校だより

学校教育目標

- 優しい子
- 考える子
- 元気な子

小川町立小川小学校 令和5年12月4日 第9号 文責 校長 須郷 聖子

『つながる心』

朝晩の冷え込みが厳しくなり、校庭のもみじも真っ赤に色づいてきました。冷たい風にも負けずに元気に校庭で遊んでいるのびっ子たちの姿から、季節の移り変わりをしみじみ感じる此の頃です。



先月はインフルエンザが蔓延し、思いもよらない学校閉鎖となってしまいました。予定していた「のびっ子発表会」は延期となり、小川町代表（6年1組）で参加する予定でした西部北地区音楽会も残念ながら辞退しました。

学校閉鎖期間中の3日間は、各クラスでオンラインでの授業となりました。担任が健康観察などで呼びかけると、元気な声で返事が返ってきたり、合図があったりしていました。普段は賑やかな教室は静まりかえっていましたが、担任と児童の心がオンラインでもしっかりとつながっているのだと感じました。また、学習の中でクラスの仲間の発言や会話があり、児童同士も普段から心のつながりを築けているのだと感じたところです。タブレットという画面越しではありますが、のびっ子の笑顔が見えて安心しました。御家庭での御協力もいただき、ありがとうございました。改めて、児童のいない学校は寂しく、活気あふれるのびっ子たちが居てこそ小川小学校だと感じた次第です。

まだまだ不十分な所はあるかと思いますが、これからも児童と教職員・児童同士の心のつながり、また、学校と家庭・地域とのつながりを大切にしていきたいと思います。

【『授業時数の弾力化に係るモデル校事業』研究発表会・おがわ学フォーラム】

本校は昨年度より文部科学省から『授業時数特例校』として指定、また埼玉県教育委員会からも『授業時数の弾力化に係るモデル校』として指定を受け、学校課題研究に取り組んでまいりました。11月28日（火）には研究発表会とおがわ学フォーラムを開催しました。県内や町内の学校関係者、また保護者や地域の皆様など大勢の皆さんが授業（1年生活科プレおがわ学、4年・5年総合的な学習の時間おがわ学）を参観しました。4・5年生の授業では、町内のゲストティーチャーにも御協力をいただきました。ある来賓の方は児童に「小川町のことが好き？」と質問したら『小川町が大好きです』という答えが返ってきて感動しました」とおっしゃっていました。

～小川小『おがわ学』の目指す児童像『小川町が大好きな児童』～



学校の様子



11月17日（金） のびっ子発表会 全児童

開会式では、6年生全員による合奏『ソーラン節』が披露されました。心をひとつにして、みんなで奏でる演奏は、会場にいるすべての人が感動しました。アンコールもあり、演奏後は多くの拍手が体育館に鳴り響きました。

引き続き、生活科や総合的な学習の時間で学習した内容を各学年で発表しました。児童はスタンプリ形式で、いろいろな学年の発表を参観しました。振り返りでは、自分たちが頑張ったことや、高学年の発表を観てとても素晴らしかったと称賛する声がありました。

日程を変更したにも関わらず、多くの皆様に参観していただきました。また、PTAの広報部の皆さんには、これまでの行事で撮影した児童の写真を販売していただきました。ありがとうございました。



11月22日（水） 持久走大会 全児童

短い期間でしたが、児童は自分の目標に向かって一生懸命練習に取り組んでいました。

開会式では児童代表で体育委員6年 さんが「最後まであきらめずに頑張りたい」と誓いの言葉を述べました。

今年も小川高等学校の陸上部と女子バスケット部の皆さんが児童に伴走し、応援もしてくれました。また、PTAの皆様にも御協力をいただき、無事に終了することができました。

最後まで一生懸命に走るのびっ子たちの姿は、太陽よりも眩しく輝いていました。

※持久走大会の入賞者名を裏面にて掲載いたしますので御覧ください。

🍁年の瀬となりました。🍁

毎日児童の安全のために登下校の見守りをしてくださっているボランティア・地域の皆様、また保護者の皆様におかれましては、心より感謝申し上げます。

寒い中ありがとうございます。

2学期は12月22日（金）が終業式です。また、3学期は1月9日（火）から始まります。引き続き児童が安心して、安全に登下校できますよう、無理のないように御協力をお願い申し上げます。